

The Planet Japan お約束事項

英語学習コミュニティ “The Planet Japan” へようこそ。このメールマガジンでは、すべてのメンバーが自分の言語スキルを向上させるために管理人（まさぼん）に質問をしたり、提案やアイデアを出したりすることを奨励しています。参加者全員が積極的で濃密な体験ができるよう、ここでは質問をする際のガイドラインをいくつか設けています。

以下の内容を遵守し、向上心を持ったうえで良識ある言動を心掛けて頂くようお願い致します。また文書の後半では、管理人より共有したい「信頼」の取り扱いに関する内容を取り上げているので、ご一読をお願いします。

◆ 目的がハッキリした質問

質問をするときは、「明確で具体的な内容」であることを確認してください。そうすることで、講師まさぼんはあなたの質問内容をより深く理解し、より適切で役立つ回答を提供することができます。

◆ 礼儀とマナー

“The Planet Japan” はインターネット上でのみ成立するバーチャルな空間ですが、現実の会社などの組織と同じく、やり取りの際には社会人としての最低限度のマナーや敬意などが必要です。誤解を招く態度や不適切な言葉などは極力使わないようにし、皆が真剣に学べる環境を作れるようにコミュニティへ参加していることを忘れないで下さい。また、講師まさぼんは読者からの質問にはできるだけ真摯に回答をしますが、もしも回答内容に納得がいかない場合は、返信をしないなどの消極的な姿勢ではなく、互いに気持ちの良い建設的な方法で、ご意見・ご提案などを頂ければと思います。

◆ 質問への回答時間

管理人は当コミュニティの管理者でもありますが、独立した個人として私生活を送っている生身の人間でもあります。参加者全員に満足のいく情報価値を提供するよう務めています。常に多数のご質問やご感想を頂いておりますため、質問への回答には優先順位を定めております。以下は目安としてお考え下さい。

- ・ コーチング生 : **即レス** (～3 時間) ※返信時刻は 6:00～23:00 の範囲内。
- ・ 講座生 : **1 日以内** (～24 時間)
- ・ 一般生 : **3 日以内** (～72 時間)

◆ 不適切な質問の具体例

以下に管理人が「適切ではない」と考える質問の事例を共有します。

・消極的（ネガティブ）な内容

ex. 「私はダメ人間です。こんな私でも英語を話せるようになりますか？」等

不安な気持ちは非常によく分かりますが、こういった質問は、他者に人生を委ねる（つまり自分で決めたくない、頭を使いたくない）依存心から生じるものです。「話せるようになりたいと思ったから、ここにいるんですよね？」と突っ込みたくなります。為せば成る、為さねば成らぬ、何事も。まずは1%でも成功の可能性を高めるため、努力して自分を磨き続ける“信念”を持ちましょう。

・検索すればすぐに分かる内容

ex. 「○○は英語で何と言えば良いですか？」等

Google で検索すればすぐに答えが出てくる内容は、まず自分で調べた痕跡を残してから質問をすることを心掛けて下さい。管理人は英語学習に関する幅広い知識や経験がありますので、おおよその質問には答えることは可能です。しかし自助努力の跡が見られない方の学習をサポートすることは本人のためにならないと考えているため、質問に「あえて答えない」ことがあります。

・本文に氏名（又はニックネーム）の記載なし

管理人にメールを送る際は必ず呼び名をご記載下さい。過度に堅苦しい挨拶はご不要ですが、メールは郵便を送るのと同じ効果を持ちます。送信者が特定できない場合、迷惑メールと同じ扱いになるため、予告なく配信を解除する可能性がありますので、事前にご理解ください。（送信者名をメールソフトに設定していても同様です）

・自分視点（エゴ）全開

多くの方はスマートフォンでメルマガを購読されますが、スマホ画面の先にある「相手の顔」を想像できている方は一握りです。会社の取引先に対面で会う時と同じ「きちんとした姿勢」を持ち、相手視点を想像する習慣を持っている方が、キャリアや人間関係における好循環が巡り始めます。これは英会話でも、日本人相手のコミュニケーションの際にも同じことが言えます。

◆ 信頼関係を築く

メルマガ受講生には、基本的には「自立した姿勢」で学習をしてもらうことを推奨しています。ただ時には自力では乗り越えづらい壁に直面することもあります。講師（まさぽん）は前向きに頑張る方を応援していますが、お互いにやり取りをする中では「信頼」という要素が非常に大きく関わります。

バーチャルの人間関係はリアルと同じくらい重要度が高く、信頼関係がない関係性では新たな提案や依頼を受けることはできません。信頼の度合いはやり取りを重ねるごとに高まりますが、逆に妙な振る舞いをすれば下がる可能性もあります。

具体的な“信頼を下げる”事例としては「誤字脱字」「名前間違い」「レスの遅延」「質問に回答した際のお礼ナシ」「面談への遅刻・無断キャンセル」「過度なネガティブ」「過度にフランクな（距離感がおかしい）内容」「過度に事務的な（そっけない）内容」「過度の権利意識や挑戦心」などが挙げられます。

上記の行為・態度が見られたからといって、講師があなたを嫌いになる訳ではありません。しかし、繰り返しこのような学習姿勢が見られた場合は「社会人としての常識がない」と判断し、一定以上の距離を置く可能性はあります。

メルマガコミュニティ“The Planet Japan”では、読者を「お客様」として扱うことはなく、あくまで対等な「仲間」としての認識をしているため、「この人に協力したい」と講師に思わせることが重要です。現時点でのあなたの信頼ポイントが100だとして、これを1000にするのか、マイナス100にするのか、全ては今後のあなた次第です。信頼は目に見えませんが、これからの時代では（金銭と同様に）重要な資産となりますので、目には見えない要素を「数値化」してとらえる習慣を持つことを講師は強く推奨します。

ちなみに、「信頼」を高める要素としては、「約束や秘密を守る」「自立する」「裏表をなくす」「間違いを認め、言い訳をしない」「素直・謙虚になる」「抱えている心情を正確に言語化する」「社会的責任・貢献意識を持つ」「共通点を探し、合わせる努力をする」などが挙げられます。が、もちろんこれ以外にも様々なやり方で人間関係の信頼を高めることができます。

最後に、メールをお使いになる際には、それ以前の内容が分かるようになるべく「引用返信」にてメッセージをお送り頂ければ幸いです。

これらのガイドラインに従うことで、私たちの誰もが共に学び、成長できる、協力的で前向きな環境を作りたいと考えています。ご協力をお願いいたします。